第７講　日本の諸地域（九州・中国・四国地方）

Step　1

1　次の問いに答えなさい。

⑴　九州中央部に連なる山地を何というか。

⑵　日本海を南から北に流れる暖流を何というか。

⑶　筑後川流域に広がる，九州を代表する稲作地帯である平野を何というか。

⑷　次の文章中の空所をカタカナで埋めよ。

「1960年代後半から，高速道路や空港周辺にIC〔集積回路〕工場がつくられたため，九州は（　　　）とよばれる。」

⑸　沖縄県では，第一次・第二次・第三次産業のうち，どの産業の占める割合が最も高いか。

⑹　有機水銀を原因に水俣病が発生した水俣市は，何県の都市か。

⑺　中国地方のうち，なだらかな中国山地の北側，日本海に面した地域を何というか。

⑻　本州四国連絡橋３ルートの開通などにより，四国地方と関西・中国地方の大都市とのつながりが強くなる一方，四国地方の経済の衰退を招く側面もあった。このような現象を何というか。

⑼　かつて高知平野で行われていた（現在ではほぼ行われていない），同じ田で米を年に２度つくることを何というか。

⑽「二十世紀」などの品種が，鳥取県でさかんに栽培されている果物とは何か。

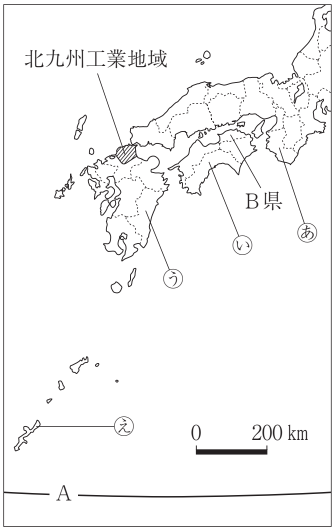
⑾　日本海側で有数の水揚げ量を誇る，鳥取県の漁港とはどこか。

⑿　タオルの生産で有名な，愛媛県の都市とはどこか。

Step　2

2　右の地図１を見て，1〜4 の問いに答えなさい。

地図１



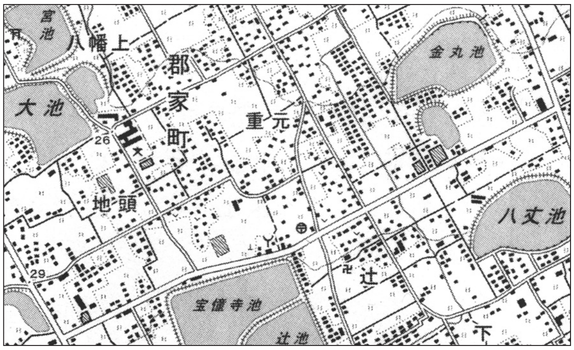
1　地図１中の線 A は，緯線を示している。線 A が表している緯度として適当なものを，ア〜エから一つ選び，その記号を書け。

ア　北緯 15 度　　イ　北緯 25 度　　ウ　北緯 35 度

エ　北緯 45 度

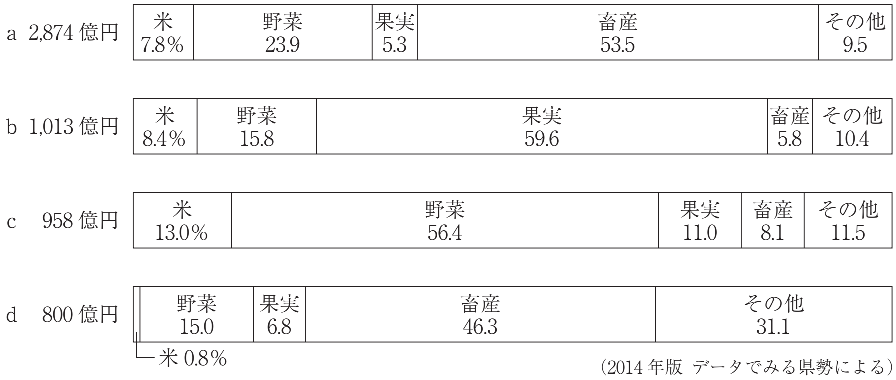
2　地図２は，地図１中の B 県の一部の地域を表した地形図である。この地域では，稲作を行う上でどのような工夫がされているか，簡単に書け。ただし，**降水量・ため池・農業用水**の三つの言葉を用いること。

地図２



（国土地理院平成 24 年発行の地形図による）

3　次のa～dのグラフは，それぞれ，地図１中の㋐～㋓のいずれかの県の，2011年における，農業生産額と，品目別の割合を表したものである。aのグラフに当たる県を，㋐～㋓から一つ選び，その記号と県名を書け。



（2014年版 データでみる県勢による）

4　次の表は，地図１中の▨印で示した北九州工業地域と，瀬戸内工業地域，阪神工業地帯のそれぞれの，2008年における，工業製品出荷額の工業別の割合，工業製品出荷額の総額と，1960年における工業製品出荷額の総額を表したものである。表中のⅠ，Ⅱは，それぞれ瀬戸内工業地域，阪神工業地帯のいずれかに当たり，X，Yは，それぞれ金属，化学のいずれかに当たる。阪神工業地帯に当たるものと，化学に当たるものの組み合わせとして適当なものを，ア～エから一つ選び，その記号を書け。

項目 / 工業地帯・地域	2008年							1960年
	工業製品出荷額の工業別の割合（%）						総額（兆円）	総額（兆円）
	機械	X	食料品	Y	せんい	その他		
北九州工業地域	38.2	20.1	18.0	9.5	0.7	13.5	8.6	0.6
Ⅰ	38.2	23.0	9.3	17.9	1.6	10.0	34.7	3.2
Ⅱ	36.6	20.3	6.6	25.0	2.2	9.3	33.3	1.2

（経済産業省資料による）

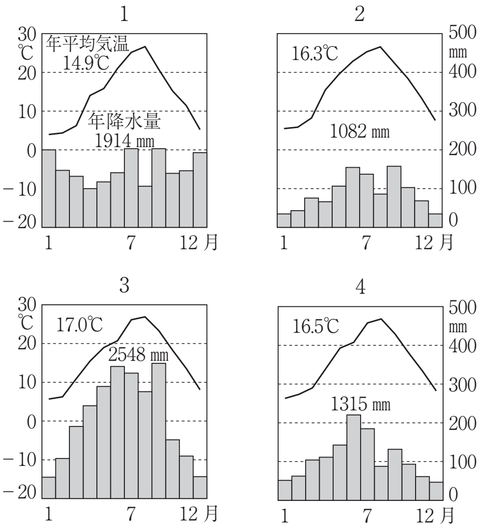
ア　ⅠとX　　イ　ⅠとY　　ウ　ⅡとX　　エ　ⅡとY

【愛媛県】

Step　3

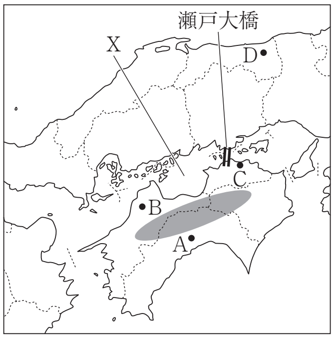
3　右の略地図や資料を見て，次の⑴～⑷に答えなさい。

⑴　次の 1～4 は，略地図中の県庁所在地である A～D のいずれかの雨温図を表している。このうち，A について表しているものを一つ選び，その番号を書きなさい。



〔「理科年表平成 27 年版」による〕

略地図

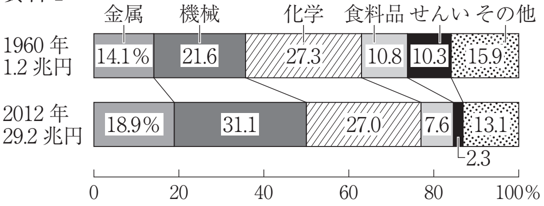


⑵　略地図中の に広がる山地を何というか，書きなさい。

(3)　略地図中のＸは瀬戸内海を表している。次のア，イに答えなさい。

ア　資料１は，瀬戸内工業地域の工業生産の変化を表している。資料１から読みとることができる内容として**適切でないもの**を，あとの1～4の中から一つ選び，その番号を書きなさい。

資料１



〔「日本国勢図会 2015／16」などによる〕

1　1960年にくらべて，2012年の化学の生産額は20倍以上になった。

2　1960年にくらべて，2012年は金属の割合が高くなり，せんいの割合が低くなった。

3　1960年にくらべて，2012年の食料品の割合は低くなったが，生産額は高くなった。

4　1960年にくらべて，2012年の重化学工業の割合は２倍以上になった。

イ　瀬戸内海では，たまごからふ化させて稚魚，稚貝をある程度まで育てたあと，放流する漁業を行っている。このような漁業を何というか，書きなさい。

(4)　資料２は，中国・四国地方の各県の人口，面積，農業生産額，年間商品販売額を表している。略地図中の瀬戸大橋でつながっている本州側と四国側の県として適切なものを，資料２中の1～4の中からそれぞれ一つずつ選び，その番号を書きなさい。

資料２

県名	人口 （千人）	面積 （km^2）	農業生産額 （億円）	年間商品販売額 （億円）
鳥取	574	3507	665	13482
1	1924	7115	1242	51817
山口	1408	6112	640	35487
2	1395	5676	1262	35374
高知	738	7104	930	15932
徳島	764	4147	1002	16615
3	981	1877	747	39805
4	2833	8479	1021	118684
島根	697	6708	552	14214

〔「日本国勢図会 2015／16」などによる〕

【青森県】

〈 ***Note*** 〉

第 7 講　日本の諸地域（九州・中国・四国地方）

Step 1

1　(1) 九州山地　(2) 対馬海流　(3) 筑紫平野　(4) シリコンアイランド　(5) 第三次産業
(6) 熊本県　(7) 山陰(地方)　(8) ストロー現象　(9) 二期作　(10) 日本なし　(11) 境(港)
(12) 今治市

Step 2

2　１．イ　２．降水量が少ないので，ため池により農業用水を確保している。(同意可)
３．(記号) ㋒　(県名) 宮崎(県)　４．イ

Step 3

3　(1) 3　(2) 四国山地　(3) ア．4　イ．栽培漁業　(4) (本州側) 1　(四国側) 3